

そうけい、いま、つくってます！！



特集

職員ワーキング開催
若い世代に伝えたい！

職員ワーキングとは？

職員ワーキングとは、芦屋市をもっと魅力的なまちにしたいという若手職員を中心とした集まりで、令和6年度は3回集まって会議を実施しました。

今回は、令和7年10月23日に実施した第4回職員ワーキングの様子をお伝えします。テーマは大手前大学との連携による映像企画・制作へのフィードバックです（経緯は2025年7月号をご覧ください）。

大手前大学生からアイデアが寄せられました

当日の職員ワーキングでは、大手前大学の学生チームから寄せられた映像の企画アイデアをテーマに検討を行いました。

総合計画の「概要」を伝える動画1本に加え、6つの施策分野ごとに各1本、計7本の動画をグループに分かれて企画・製作する取組です。

このプロセスの中で学生自身が芦屋市の総合計画を読み込み、学生同士で議論を重ねながら進めてきています。

職員ワーキングでは、学生の発想を尊重しつつ、市役所として下記の3つの視点をもって意見交換を行いました。

【意見整理における3つの視点】

①表現の正確性

文字や用語の適切さ、誤解を招かない表現等

②伝わりやすさ

若年層にもわかりやすく、要点が明確か等

③追加要素

入れたほうがよい内容等

▼アイデアをしっかり確認



▼視点に沿って整理



現行の芦屋市総合計画はこちら
・第5次総合計画前期基本計画
(第2期創生総合戦略)



周知方法のアイデアも検討しました

もう1つのテーマは、総合計画の周知方法です。他都市の総合計画に関する動画の取組や、芦屋市が持っているチャネル（広報手段）の整理をしたうえで、効果的な周知のあり方を考えました。

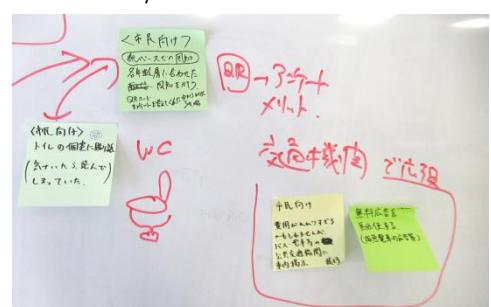
市民向けと庁内向けに分けたうえで、適した媒体や公開のタイミング、関心を高める工夫などについて議論し、共有しました。

市民向けには、チラシ配布に加え、別の手法としてトイレの個室への掲示といった斬新なアイデアも挙がりました。

庁内向けには、掲示板への掲載頻度を増やすことや、内容を絞って深堀りする発信、エレベーターなど視認性の高い場所での掲示といった提案がありました。

いずれの場合もデジタル活用を前提としつつ、市民や職員が実際に必ず目に触れる場所はどこかという視点を重視していた点が共通しています。

▼デジタル/アナログの組み合わせの例



前回までのバックナンバーはこちら



▶次回も乞うご期待